

事務事業評価シート(事前評価)

事業コード 10-02-01	事務事業名 雨水貯留等施設設置事業	所管部課 教育部 学校運営課
-------------------	----------------------	----------------------

施策コード 創2-3	施策名 学校教育の充実	施策目標 一人ひとりが輝き、生きる力を育む活力ある学校づくりをめざします。
---------------	----------------	--

事務事業の概要	事務事業の目的		根拠法令等	
	校庭の雨水が校地外へ流出するため雨水対策として、貯留・浸透施設を設置する。		<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領	
	事業内容・実施方法等			
	東小学校、柳沢中学校の校庭に溜まる雨水を浸透施設設置することにより、一時的に雨水流出を抑制し、晴天時にポンプにて排水処理を行う。また、両校とも学校外部から雨水が流入し、校地外へ流出するため学校周辺の雨水解消を視野に入れ検討を行う。 東小学校 貯留量475㎡(中空ブロック)、柳沢中学校 貯留量552㎡(中空ブロック)			
事業開始時期	25 年度	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()	

事業費データ	項目	単位	23年度	24年度	25年度	目標	〇	年度
	事業費(A)			0	0	80,000		
財源内訳	国庫支出金・都支出金	千円	0	0	0			0
	地方債		0	0	74,000			0
	その他 ()		0	0	0			0
	一般財源		0	0	6,000			0
	所要人員(B)	人	0	0	0			0
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	0	0			0
	臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0			0
	総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	0	0	80,000			0
	単位当たりコスト(E)=(D)/(雨水貯留施設設置)	千円	0	0	40,000			0

評価指標の設定	活動等指標		単位	23年度	24年度	25年度	目標	〇	年度
	①	雨水貯留施設設置	目標値	基			2		
②		目標値							
《指標の説明 など》									
評価指標の設定	成果指標		単位	23年度	24年度	25年度	目標	〇	年度
	一次	目標値							
実績値									
二次	目標値								
	実績値								
《指標の説明 など》									

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	特になし	
	事業実施上における制約や財源確保等	特になし	
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	特になし

事業コード 10-02-01	事務事業名 雨水貯留等施設設置事業	所管部課 教育部 学校運営課
-------------------	----------------------	----------------------

施策コード 創2-3	施策名 学校教育の充実	施策目標 一人ひとりが輝き、生きる力を育む活力ある学校づくりをめざします。
---------------	----------------	--

【一次評価】

検証項目		ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業化する上での課題
A	事業の優先度 (緊急性)	1	□ 事業化	当初計画時には、雨天時に学校の門から雨水が沿道に流出し、道路冠水等の被害が発生している状況にあった。これは、道路から校庭への流入による地形的な理由と下水道施設が未整備であったため、放流先流下能力が不足していたと考えられ、当該2校を対象に実施することになっていた。その後、学校周辺の下水道施設が整備されたことにより、学校施設からの雨水の流出による道路冠水等の被害が解消された。このことにより、当初計画していた事業については、計画を中止することが妥当だと考える。
	事業の必要性	3		
	事業主体の妥当性	3		
B	直接のサービスの相手方	2	□ 抜本的見直し	
	事業内容等の適切さ	1		
	受益者負担の適切さ	3		
C	市民ニーズの把握	2	■ 計画を中止	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目		ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業化する上での課題
A	事業の優先度 (緊急性)	1	□ 事業化	東小・柳沢中への雨水貯留等施設設置事業について、当初の計画策定では、校庭の雨水が学校周辺に流出し道路冠水となっていた。しかしながら、その後、学校周辺において、下水道（雨水）施設が整備されたため、学校周辺地域の道路冠水等の被害は解消された。したがって、学校周辺地域の雨水対策としての本事業については、計画を中止すべきと考える。ただし、他の小中学校における周辺地域の道路冠水等の状況については、関係部署と共に再確認する必要がある。
	事業の必要性	2		
	事業主体の妥当性	3		
B	直接のサービスの相手方	2	□ 抜本的見直し	
	事業内容等の適切さ	1		
	受益者負担の適切さ	3		
C	市民ニーズの把握	2	■ 計画を中止	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業化する上での課題等
<input type="checkbox"/> 事業化 <input type="checkbox"/> 実施を延期 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input checked="" type="checkbox"/> 計画を中止	<p>本事業については、一次・二次評価のとおり、当該地域の下水道整備により道路冠水等の被害が解消された実態を受け、当初の計画を中止することが妥当と判断する。</p>